



株式会社UKCホールディングス

株主様へのご案内



2015年3月期(第6期)
2014年4月1日～2015年3月31日
証券コード：3156

特 集

- ▶ 中長期的な会社の経営戦略 p.2
- ▶ 第5期(2014年3月期)株主様アンケート結果 ... p.5
- ▶ 株主還元 p.5

□ 経営理念

私たちは
**United
Knowledge
Company**
です。

私たちがUKCグループに集うのは、私たち一人一人の持つ知識や経験、能力を一つにより合わせることで、これを思ってもみなかった大きな力とすることができるからです。

その結果、私たちの得意とするエレクトロニクスの分野で、お取引様のお役に立ち、ひいては社会・世界の発展に貢献できれば、これ以上の喜びはありません。グループにいる一人一人が思う存分その能力を発揮し、いつも笑顔で仕事ができるよう、そう私たちは願っています。

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また、平素からの皆様のご支援、ご高配に心より厚く御礼申し上げます。

2015年3月期における当社グループは、海外のスマートフォン向け販売の一時的な停滞の影響により、売上高、利益ともに前年度を下回る結果となりました。2016年3月期は、海外スマートフォン向けのシェアは回復する見込ではありますが、引き続き厳しい事業環境が予想されます。当社は、迅速な経営判断のもと、引き続き効果的・効率的な事業運営に努めてまいります。

当社グループが属しておりますエレクトロニクス業界は、グローバル化が最も進んでいる業界の一つです。目まぐるしく変動、進化する市場・事業環境に対応するべく、吸収分割の手法により、子会社であるUKCエレクトロニクスの半導体及び電子部品事業を当社が承継する機構改革を実施し、2015年4月に新生UKCホールディングスが発足いたしました。当社は、事業持株会社として、意思決定の迅速化、グループ内事業シナジー効果の早期創出、及び更なる経営効率化を実現し、中長期的な成長をより確実なものとしてまいります。一方、分割会社であるUKCエレクトロニクスは商号を変更し、システム機器事業を営むUKCテクノソリューションとして営業を開始いたしました。

また、当社は、2015年4月に東京エレクトロン株式会社の子会社である東京エレクトロン台湾から、DDS (ダスト・ディテクション・システム) 事業を譲り受けました。DDS事業は、太陽光発電における太



代表取締役社長
福 新 博 男

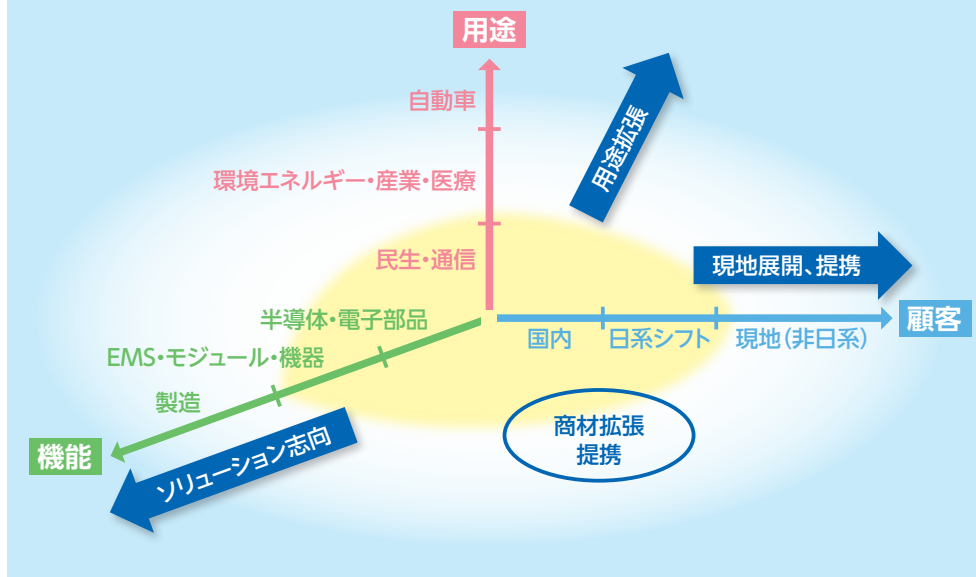
陽光パネル表面上の汚れや温度上昇等に起因する発電効率の劣化を測定するセンサーを内蔵する機器の開発・設計・製造・販売事業と、発電効率に関するデータ提供を行うサービス事業から成り立ちます。当社は、サービス事業、ソリューション提供型事業の皮切りとして同事業を国内外で展開することで、太陽光パネル、インバータ等の販売を手掛ける当社の環境事業との相乗効果も具現化してまいります。今後も当社グループの経営資源を補完する他社との提携の機会を模索してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■ 中長期的な会社の経営戦略

当社グループは、海外シフトを含む日本・韓国メーカーを顧客とした民生・通信用途の半導体・電子部品販売、電子機器販売、EMS事業を主たる事業領域としてきました。中期的には、事業領域を以下の顧客軸、用途軸、機能軸で広げていくことで、利益を伴う成長の実現を図ってまいります。今回はその事業拡張の具体的取り組みと進捗についてご報告します。

図：UKCグループの事業拡張の方向性



■ 顧客軸

顧客軸では、民生を中心とした国内顧客やスマートフォン用途の韓国顧客から、成長地域（中国、アセアン）の現地顧客（メーカー）への拡張が主な取り組みとなります。海外現地顧客への販路構築に向けた外部提携の模索は継続的に行っております。また、日本の販売推進機能（技術／市場性検討）を軸に、各拠点において発掘した商材のグループ展開を加速させております。

■ 用途軸

用途軸では、レンズ交換式デジタルスチルカメラやスマートフォンから、ウェアラブル等のスマートデバイスに加えて、成長が期待できる環境・エネルギー、自動車、産業機器向けへの拡張が主な取り組みとなります。ADAS（先進運転支援システム）向けのソニー製イメージセンサーにつきましては、2016年度からの業績寄与に向けて、日本においてTier1/2メーカー等数社と、また韓国においても商談中です。また、イメージセンサー以外の自動車向けの商材の発掘も精力的に行っております。ウェアラブルビジネスは、スポーツ用途、業務用途向けに商談を行っており、2016年度より売上寄与を期待しております。Transphorm社 GaN/パワー半導体はパワーコンディショナー向けに販売を行っており、その他、日本、アジアにおいて、インバーター、サーバー/TV/白物電源向け等に紹介・拡販活動を続けております。

■ 機能軸

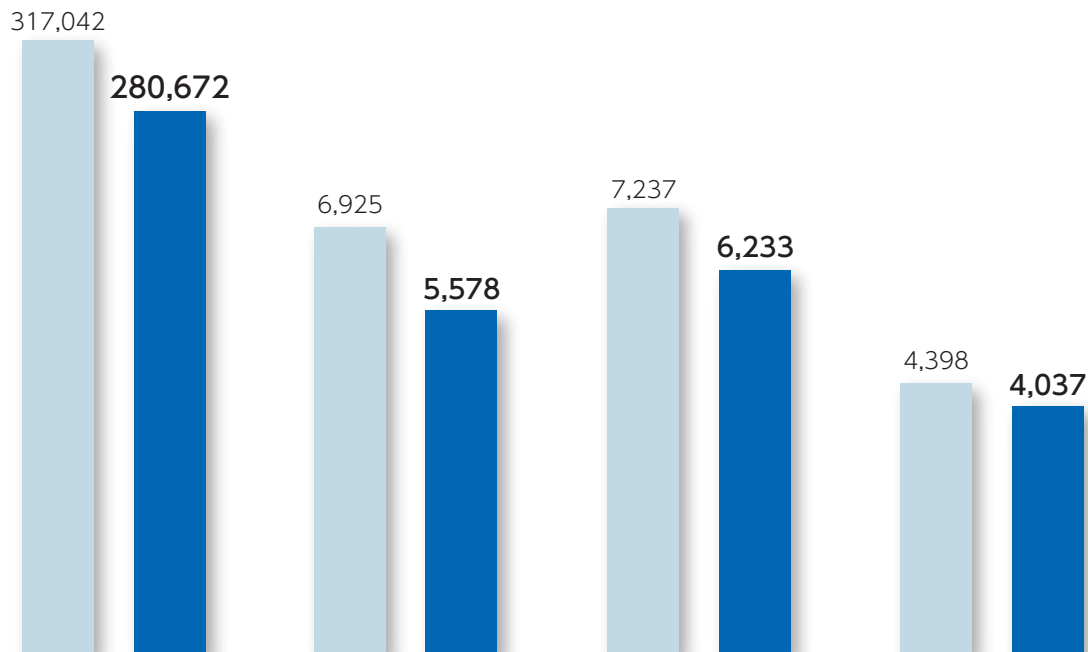
機能軸では、顧客の利便性を考慮すると、今後は個別商材の販売やその組み合わせにとどまらず、顧客のニーズを総合的に満たすシステム化（ソリューション化）が重要と考えております。その実現に向けて、当社グループの経営資源を補完するハード・ソフトウェア技術やサービスを外部から積極的に取り入れております。2014年度に業務資本提携を開始したDMP（デジタルメディアプロフェッショナル）社とは、SoC/モジュールビジネス分野において、アミューズメント顧客へのアプローチを推進するとともに、自動車、IoT攻略への参入について具体的協議を継続しております。

また、2015年4月に東京エレクトロン台湾より譲り受けたDDS事業は、当社のソリューション提供型事業、IoT事業の皮切りの位置づけで、初年度は日本、アジア顧客を中心に売上高2億円を見込んでおります。

UKCグループの業績をご報告します

□ 連結損益計算書 (単位：百万円)

■ 2014年3月期
■ 2015年3月期



売上高

POINT

前年同期比

△364億円
(△11.5%)

ポイント

■主に、海外のスマートフォン向け販売の一時的な停滞により前年同期比減

営業利益

POINT

前年同期比

△13.5億円
(△19.5%)

ポイント

■前年2Qに海外連結子会社において計上した貸倒引当金の影響は剥離したものの、減収により前年同期比減

経常利益

POINT

前年同期比

△10.0億円
(△13.9%)

ポイント

■為替差益の改善(3.7億円⇒7.1億円)により、営業利益と比較して、減益幅は減少

当期純利益

POINT

前年同期比

△3.6億円
(△8.2%)

ポイント

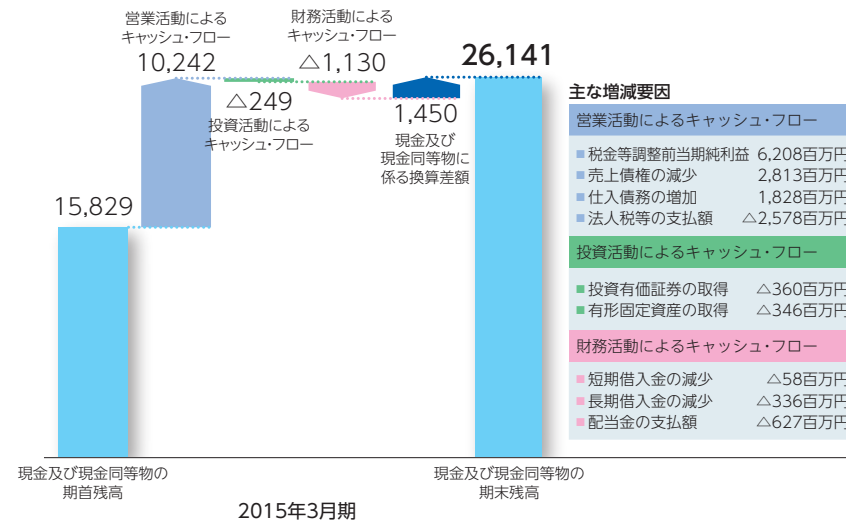
■経常利益の減益を受け、当期純利益も前年同期比減

より詳細な情報は当社ホームページへ

UKC 決算短信

検索

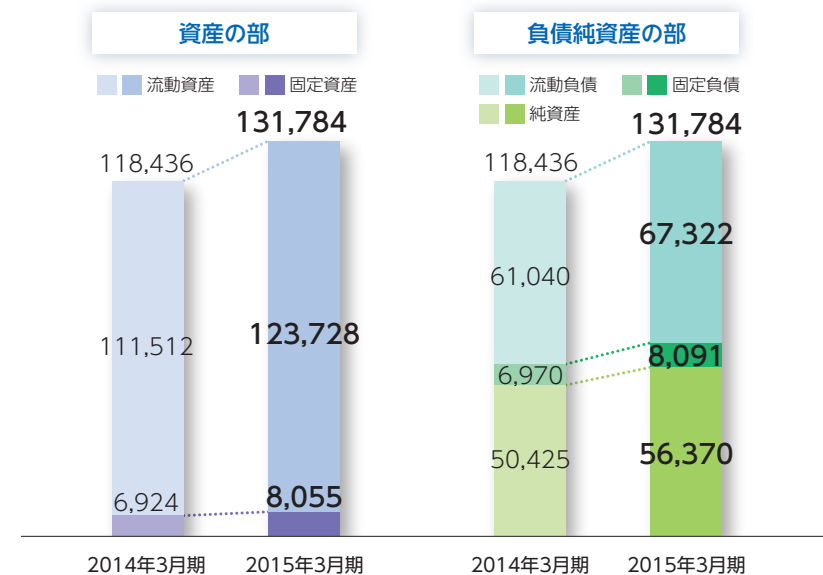
□ 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位：百万円)



主な増減要因

営業活動によるキャッシュ・フロー	
■税金等調整前当期純利益	6,208百万円
■売上債権の減少	2,813百万円
■仕入債務の増加	1,828百万円
■法人税等の支払額	△2,578百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	
■投資有価証券の取得	△360百万円
■有形固定資産の取得	△346百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	
■短期借入金の減少	△58百万円
■長期借入金の減少	△336百万円
■配当金の支払額	△627百万円

□ 連結貸借対照表 (単位：百万円)



UKCグループのセグメント別業績状況

UKCグループは、業界トップの売上規模を誇るエレクトロニクス商社です。

事業セグメントは、イメージセンサーやタッチパネル及び液晶パネル関連部材の取扱いを中心とする半導体及び電子部品事業、放送用カメラをはじめとする業務用製品の取扱いを中心とする電子機器事業、NFC*・FeliCa対応の非接触ICカード関連製品の取扱いを中心とするシステム機器事業の3部門に分かれます。競争力のあるこれらの取扱い製品に、専門エンジニアリング組織によるきめ細かな技術サポート、EMS(電子機器受託製造サービス)、半導体・電子部品の信頼性試験や環境物質分析サービスを組み合わせることにより、お客様に満足いただけるソリューションを提供しております。

*Near Field Communication：近距離無線技術の国際標準規格。ソニー規格FeliCaとの下位互換性を持つ。

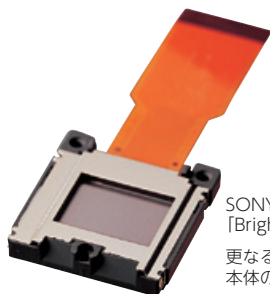
半導体及び電子部品事業

売上高構成比 93.5%

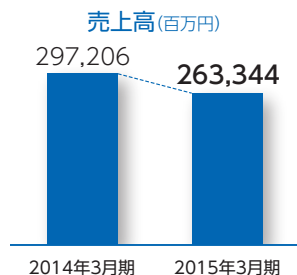
事業セグメント業績状況

半導体及び電子部品事業におきましては、主にスマートフォン向け製品の販売が減少したことにより、減収、減益となりました。

以上の結果、売上高は2,633億44百万円(前年同期比11.4%減)、セグメント利益は53億93百万円(前年同期比16.4%減)となりました。



SONY製プロジェクト用液晶パネル「Bright Era LCX079A/Lcx083A」
更なる高輝度化とプロジェクト本体の小型化を実現します。



電子機器事業

売上高構成比 5.6%

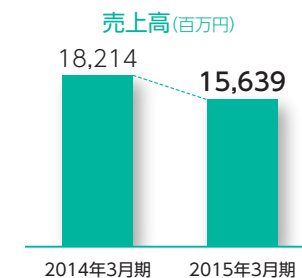
事業セグメント業績状況

電子機器事業におきましては、景気刺激策等に伴う昨年度の顧客需要増の反動が長期化しており、減収となりました。固定費の削減はあったものの、減収の影響により、セグメント利益も大きく減少しました。

以上の結果、売上高は156億39百万円(前年同期比14.1%減)、セグメント利益は1億30百万円(前年同期比71.7%減)となりました。



2014年11月に開催された「Inter BEE」に共信コミュニケーションズ(株)が出展



システム機器事業

売上高構成比 1.0%

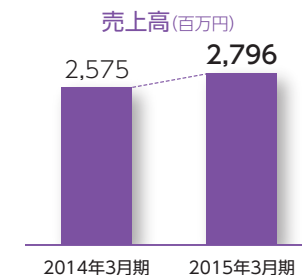
事業セグメント業績状況

非接触ICカード関連事業におきましては、電子マネー関連ビジネスが引き続き好調に推移し、売上が伸長しました。また、半導体及び電子部品の信頼性試験・環境物質分析サービス事業におきましては、売上は微減したものの、粗利率が改善しました。

以上の結果、売上高は27億96百万円(前年同期比8.6%増)、セグメント利益は2億19百万円(前年同期比14.3%増)となりました。



オフィス、集合住宅などさまざまな場で利用が見込まれるコンパクトサイズの非接触ICカードセキュリティ「NFC対応 出入管理リーダライタ」<OEM提供品>



トピック 1 第5期(2014年3月期)株主様アンケート結果

第5期(2014年3月期)株主様へのご案内に同封いたしました「株主アンケート」に、数多くの株主様よりご回答を頂戴しました。お忙しい中ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

以下に、今回の「株主アンケート」の結果の一部をご紹介します。

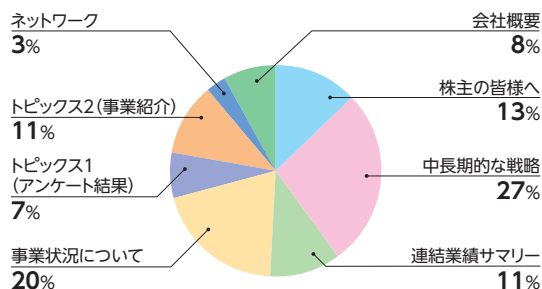
第5期(2014年3月期)「株主アンケート」概要

アンケート方法

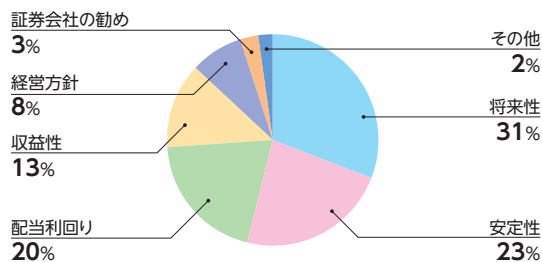
冊子「株主様へのご案内」にアンケートはがきを同封して実施

	前回	今回
回答期間	2013年7月～9月末	2014年7月～9月末
回答者数(回答率)	716名(14.9%)	843名(19.4%)

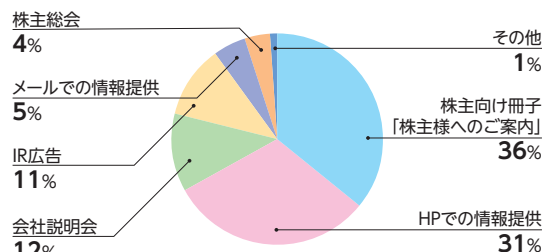
興味をもった内容は何ですか？(3つまで可)



当社の株式を購入・継続保有する理由は何ですか？(2つまで可)



当社のIR活動において特に充実を希望するものは何ですか？(複数回答可)



皆様からいただいたご意見・ご要望(一部抜粋)

- これからも健全な経営を期待しています。長期保有できればと考えています。(50代、女性)
- ずっと持ち続けています。業績も配当も安定した株主作りのために必要なものだと思います。期待しています。(50代、女性)
- 収益が安定しているが、株価に反映されていない。もっと株価対策をしてほしい。(60代、男性)
- 株価低迷が続いているので、株価アップに努めていただきたい。(60代、男性)
- ROEを高め、強みある事業拡大期待します。(60代、男性)
- 市場マーケットの変化対応の行動、それに伴う技術開発&人材確保(投資)を望む。(40代、男性)
- 株主総会是他社と重ならない日程が望ましいです。(40代、男性)
- 事業内容をHPなどでもっとアピールしてほしい。(30代、男性)
- 経営理念に感心しました。いつも笑顔で仕事ができる会社になって下さい。(不明)
- もっと会社の名前を耳にするようになるとういなおと思います。(30代、女性)

株主の皆様からの貴重なご意見を活かし、更なる企業価値向上及びIR活動の充実に向け努力してまいります。

今後も、株主の皆様とのより良いコミュニケーションの実現を目指し、定期的にアンケートを実施していきたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

トピック 2 株主還元

当社は、株主各位への利益還元を経営の最重要課題の一つと考え、収益状況に対応した配当を行うことを株主還元に関する基本方針としつつ、株主様への安定した配当の維持を重視してまいりました。今回、短期的及び中期的に連結配当性向の具体的なターゲットを定めることで、より定量的な方針といたしました。

連結配当性向のターゲット

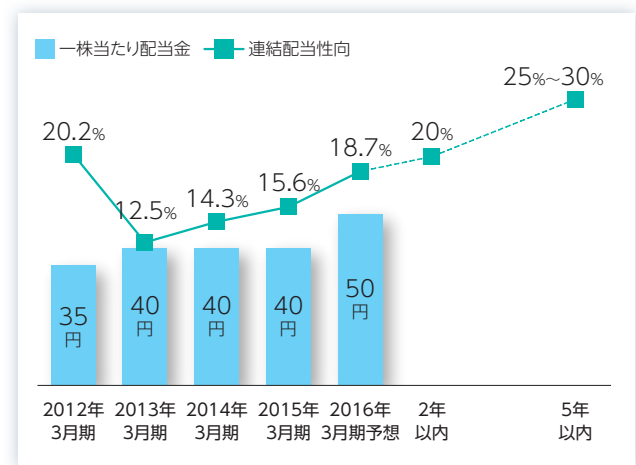
- 短期的(2年以内) **20%**
- 中期的(5年以内) **25%~30%**

適用時期

2016年3月期より

当社は引き続き、積極的な株主還元につきまして検討してまいります。

一株当たり配当金と連結配当性向



もっと知りたいUKC

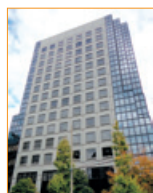
UKCグループ主要拠点紹介

UKCグループは、UKCホールディングス(東京・大崎)を中核企業として国内に5社のグループ会社を展開しています。

また、海外では中国、韓国、香港、シンガポール、タイのアジア各地に営業拠点をおき、各地域の特性や成長スピードに合わせたバランスの取れたグループ経営が可能となっています。

今回はUKCグループの主要拠点とグループ会社についてご紹介します。

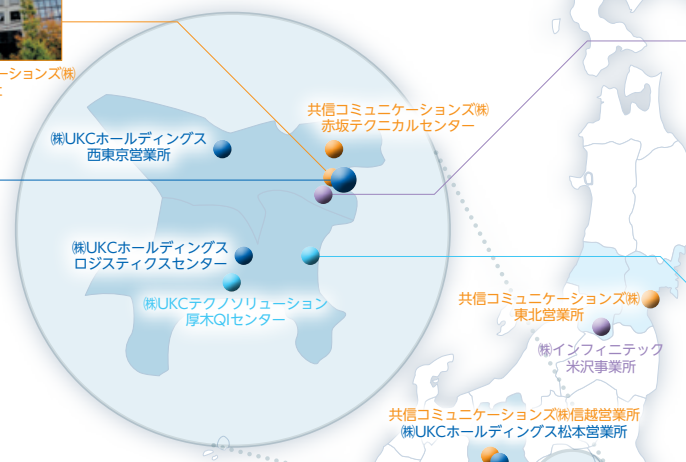
国内



共信コミュニケーションズ株式会社

共信コミュニケーションズ株式会社

業務用のAV/IT機器を組み合わせ、お客様のニーズに即した最適ソリューションとして提供しています。



株式会社UKCホールディングス

ソニー製を中心とした半導体・電子部品の販売を行っています。

株式会社UKCテクノソリューション

横浜では、NFC、FeliCa等の非接触ICカード事業を、厚木、鹿児島、大分、熊本の4つのQIセンターでは半導体等の信頼性試験を行っています。

株式会社UWテクノロジーズ

タッチパネル関連の事業を行っています。



株式会社UKCテクノソリューション 熊本QIセンター



株式会社インフィニテック

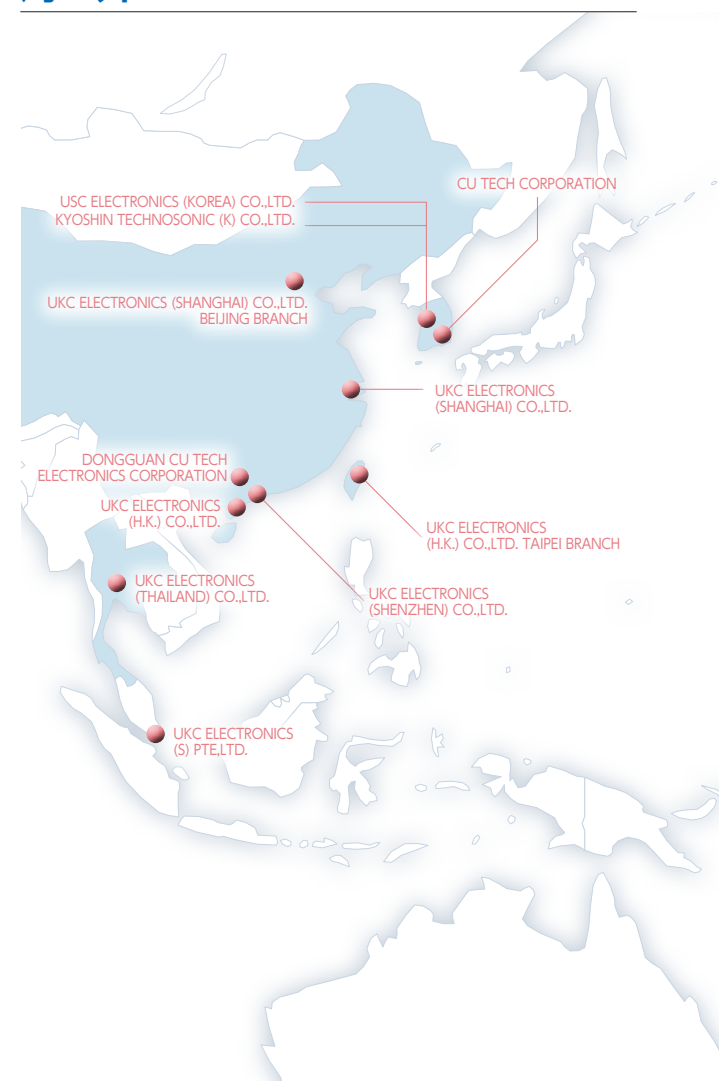
株式会社インフィニテック

ネットワーク対応AVシステムやセキュリティ関連事業、アプリケーションの開発や販売を行っています。



株式会社UKCテクノソリューション 横浜事業所

海外



会社概要 (2015年3月31日現在)

商号	株式会社UKCホールディングス (英文名: UKC Holdings Corporation)																
本社	東京都品川区大崎一丁目11番2号 ゲートシティ大崎イーストタワー15階 TEL 03-3491-6575 FAX 03-3491-7825																
設立	2009年10月1日																
資本金	43億83百万円																
事業内容	各種半導体・電子部品、電子機器、システム機器販売事業、半導体等の信頼性試験・環境物質分析サービス及び、EMS事業等を営むこと、並びにこれらの事業を営む会社の株式又は持分を保有することにより、当該会社の事業活動を支配・管理すること																
従業員数	単体69名 連結1,264名																
取締役及び監査役 (2015年6月26日現在)	<table border="0"> <tr> <td>代表取締役社長</td> <td>福寿 幸男</td> </tr> <tr> <td>代表取締役副社長</td> <td>田口 雅章</td> </tr> <tr> <td>取締役副社長</td> <td>小島 茂</td> </tr> <tr> <td>取締役(社外)</td> <td>大根田 伸行</td> </tr> <tr> <td>取締役(社外)</td> <td>島崎 憲明</td> </tr> <tr> <td>常勤監査役</td> <td>森田 清文</td> </tr> <tr> <td>監査役(社外)</td> <td>秋山 治一</td> </tr> <tr> <td>監査役(社外)</td> <td>松村 幸祐</td> </tr> </table>	代表取締役社長	福寿 幸男	代表取締役副社長	田口 雅章	取締役副社長	小島 茂	取締役(社外)	大根田 伸行	取締役(社外)	島崎 憲明	常勤監査役	森田 清文	監査役(社外)	秋山 治一	監査役(社外)	松村 幸祐
代表取締役社長	福寿 幸男																
代表取締役副社長	田口 雅章																
取締役副社長	小島 茂																
取締役(社外)	大根田 伸行																
取締役(社外)	島崎 憲明																
常勤監査役	森田 清文																
監査役(社外)	秋山 治一																
監査役(社外)	松村 幸祐																

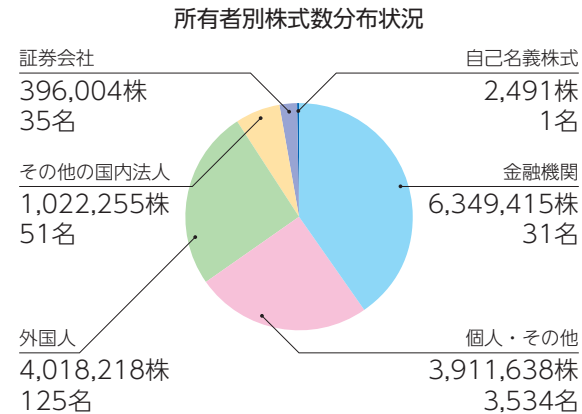
株式の状況 (2015年3月31日現在)

発行可能株式総数	57,000,000株
発行済株式総数	15,700,021株
株主数	3,777名

大株主

株主名	株式数 (千株)	持株比率 (%)
みずほ信託銀行(株) 退職給付信託ソニー株003口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行(株)	2,234	14.23
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	1,497	9.53
みずほ信託銀行(株) 退職給付信託東京都民銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行(株)	623	3.97
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	567	3.61
(株)三菱東京UFJ銀行	496	3.16
中山 邦子	390	2.48
(株)みずほ銀行	370	2.35
明治安田生命保険(株)	295	1.88
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	273	1.74
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	252	1.61

株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
基準日	定時株主総会: 毎年3月31日
剰余金の配当の基準日	期末配当: 毎年3月31日 ※中間配当を実施するときの基準日は9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
公告方法	日本経済新聞
ホームページ	http://www.ukcgroup.com/
証券コード	3156
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先 (連絡先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL:0120-232-711

【お知らせ】

- 住所変更・単元未満株式の買取等のお問い合わせ先について
お取引口座のある証券会社にお問い合わせください。
- 特別口座に記録された株式に係る各種手続きについて
下記の特別口座管理機関にお問い合わせください。
①株式移転前の株式会社ユーエスシー株式をご所有の株主様
〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
東京証券代行株式会社 事務センター
TEL:0120-49-7009
②株式移転前の共信テクノソニック株式会社株式をご所有の株主様
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL:0120-232-711
- 未払配当金のお支払いについて
支払期間経過後の配当金につきましては、株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社本支店でお支払いいたします。ご郵送の場合は上記郵便物送付先までご送付ください。

株式会社UKCホールディングス
〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番2号
ゲートシティ大崎イーストタワー15階
TEL 03-3491-6575 FAX 03-3491-7825
<http://www.ukcgroup.com/>

